



# はすね

令和7年2月1日  
板橋区立蓮根小学校  
2月号

教育目標： やさしく かしく たくましく  
蓮根学びのエリア（志村三中 志村六小 蓮根二小 蓮根小）



## 目と耳と心を働かせて

副校長 菅野 大基

先日、ある教室で「〇〇さん。今日、日直だよ。」「分かっているよ。」という会話を耳にしました。我が家でも、よく聞く会話ですが、皆様のご家庭ではいかがですか。その後の朝の会で、この会話について話題にすると「せっかく教えてあげたのに・・・。」「分かっていることを言われると・・・。」という反応が返ってきました。お互いにあまりいい気分ではないようです。会の最後に、「これから友達とコミュニケーションをとる前には、目と耳と心を使ってみるといいね。」とアドバイスをしました。

コミュニケーション能力は、子どもたちが、これからの社会を生き抜くために欠かせない力です。相手の話に耳を傾けること（傾聴力）、分かりやすく自分の気持ちを伝えること（表現力）。そして一番大切なのは、相手の気持ちになって考えられる力（洞察力）です。

洞察力とは、表面的な言葉や行動の奥にある「相手の気持ち」や「背景」を読み取る力です。この力は、日常生活の中で養われ、相手を思いやる心の成長にもつながります。本校では、授業や学校生活のあらゆる場面で、相手の立場や気持ちを考えられるように日々指導をしています。校内研究では学級会の指導を通して、みんなで話し合っ意見をすり合わせ、学級の全員が納得できる合意形成の力も育てています。ご家庭でも是非、以下のような取り組みをしてみたいはいかがでしょうか。

- 子どもの話を最後までじっくりと聞くこと
- 家族全員で時間を設け、今日の出来事や考えを共有すること
- 相手の気持ちを想像することの大切さを話し合うこと

数日後、「〇〇さん。分かっていると思うけど、日直だよ。」「そうだね、ありがとう。」と、周りで聞いて心地のよい会話へと変化していました。

毎日の小さな積み重ねが、子どもたちの大きな力となっていることを実感した出来事でした。

## 「研究の成果と課題について」

## 研究推進部

今年度は研究主題「社会性を育む学級活動～みんなで輝く話し合いをとおして～」として、2年目の研究・研修を行いました。研究・研修を進めて行くにあたり、7月と12月に児童への実態調査を行いました。最も変化が大きく表れたのが「あなたは学級会の話し合いで発言できていますか」という質問で7月の65.4%から12月の調査で73.5%となり、肯定的な意見が8.1%増加しました。次いで「あなたは学級会に進んで参加できていますか」という質問では、肯定的な意見が7月の86%から12月は91.3%に5.3%増加しました。これは学級活動を子どもたちが意欲的に取り組んでいるという表れだと考えられます。また、2年目の研究・研修ということもあり、7月の段階で肯定的な意見が高いのも特徴です。

目指す児童像として設定した「意見の違いや多様性を認め合う児童」「集団としての合意形成を図る児童」「自己の役割を果たしたり、互いの良さを生かしたりして協働して実現する児童」に昨年度よりさらに近付いたと考えることができます。特に今年度は児童が学級活動の話し合いを楽しんでいたりと、活動にも創意工夫したりして主体的に活動する場面が多く見られました。

常時活動の「言葉の宝箱」では、友達からの温かな言葉や行動を紹介し合ってきました。この活動をとおして友達の優しさや思いやりに気付いたり、友達の輪をさらに広めるきっかけになったりと社会性を育む活動のうえで大きな役割を果たしました。また、教師の称賛を素直に受け止められるようになり、友達同士でも自然と励まし合う言葉が多く聞かれるようになりました。自己肯定感の向上という意味でも大きな成果が見られました。

話し合いが活発になった一方で、今後の課題は子どもたちの発言をどのように深めていくかです。提案理由に沿った意見を出し、さらに話し合いの中で深め、よりよいものにしていく必要があります。何のための話し合いか、活動をとおしてどのようになりたいのかをフィードバックし次の活動につなげていきます。

これからも子どもたちと一緒に私たちも考え、学び、成長していき、社会性を育む学級活動につなげていきたいと考えています。

## 「インフルエンザ予防対策について」

## 保健室

昨年12月26日に都内でインフルエンザの流行警報が出ました。年末年始にかけて流行が広がっていて、これから流行のピークを迎えそうです。

インフルエンザはウイルスの種類によって大きく3つのタイプに分けられます。「新型インフルエンザ」として流行したA(H1N1)型、A香港型、B型です。現在、感染者が最も多いのはA(H1N1)型です。しかし、A香港型とB型に感染している人も出ている状況です。異なるタイプのインフルエンザウイルスが同時に感染拡大を続けています。

つまり、1回インフルエンザに感染しても、もう1回感染する可能性があります。A(H1N1)型に感染すれば、このタイプへの免疫はつきますが、A香港型やB型への免疫はつきません。例年、これからB型の感染が広がっていくので、3回インフルエンザに感染する可能性もあります。

学校でも手洗い・うがい、咳エチケット、教室の換気等の感染症対策について声をかけていきます。ご家庭でもお子様の体調管理にご留意いただき、発熱やかぜ症状が見られる際には、登校を控えていただく等のご協力をよろしくお願いいたします。

## 「児童数確認について」

新年度に向けて児童数や学級数を確定する時期になりました。転出の予定のあるご家庭は、分かり次第早めに担任までお知らせください。ご協力よろしく申し上げます。